

## W04c 全天 X 線監視装置 MAXI のデータ公開について

小浜光洋 (理研・JAXA)、松岡勝、川崎一義、上野史郎、富田洋、鈴木素子、石川真木、足立康樹、片山晴善 (JAXA)、三原健弘、杉崎睦、磯部直樹 (理研)、常深博、宮田恵美 (大阪大)、河合誠之、片岡淳 (東工大)、吉田篤正、山岡和貴 (青学大)、根来均、中島基樹 (日本大)、森井幹雄 (立教大)、上田佳宏、江口智士 (京都大)、他 MAXI チーム

全天 X 線監視装置 MAXI は来年春にいよいよ打ち上げられる。MAXI は、国際宇宙ステーション (ISS) の管制グループから運用を引き継がれたところで、稼働開始となる。約三ヶ月の初期動作確認を行ったのち、専用のデータ公開 Web ページにてデータの公開を順次始める予定である。公開されるデータは XSPEC 等の周知されたツールで表示可能なもので、MAXI 独自のツールは公開しない予定である。(予定している全ての情報公開がスムーズに行われないこともあるので、予めお断り申し上げたい。) 本講演では下記に挙げるデータ公開システムの概要とデータ公開に関する情報を発表する。データ公開の窓口は理研に設置し、次の情報を公開する予定である。

1, 突発天体の速報 (NOVA アラート): MAXI ではつくば宇宙センターに届いたデータの即時解析を行い、突発天体や激変星の情報を登録者に電子メールにて速報を行う。2, 全天マップの定例公開: MAXI は日々全天観測を行うので、毎日観測された全天マップを更新して公開する。3, 既知天体の定例更新: MAXI では MAXI で観測可能な現在知られている約 1000 個の天体のライトカーブ、スペクトルを毎日 ~ 毎週程度の頻度で公開する。4, リクエストデータ公開: MAXI の運用が順調に進んで、約 1 年経過したあたりでサービスを開始する予定である。利用者は専用のフォームから、全天のあらゆる場所のライトカーブ、スペクトルを柔軟な選択条件を課して得ることができる。5, 上記に収まらない特殊な情報が欲しい場合は、MAXI チームとの連携という形でデータ解析を行うことができる。MAXI チームとしては、多くの利用者にあらゆる角度から MAXI のデータを活用して貰いたいと思っている。